

参加者 60名 アンケート回答 52名

<結果>

1. この講演会は、どのようにして知りましたか。

チラシ 10名 医師会の案内 15名 在宅きたかみの案内 9名 知人 9名
北上市広報（ホームページ）2名、
その他 9名（Facebook3名、家族2名、ホームページ2名 がん患者の会、
リレーフォーライフ・ジャパンきたかみ）

2. 参加した理由をお聞かせください。

- ・興味のある内容だったから 11名
- ・緩和ケア医療の、それぞれの立場での話を聞きたかったから 7名
- ・身近にがん患者がいるため。自身ががん治療中であるため 6名
- ・理解を深めたい、自分の意識を高めたいと思ったから 4名
- ・誘われたから 3名
- ・北上市の緩和ケアの現状を知りたかったから 3名
- ・仕事に役立つから。研修のため 3名
- ・最近のがん治療の情報を聞きたかった 3名
- ・がんに関する講演に参加を希望していたから 2名
- ・がん患者のケアのために学びたいと思ったから 2名
- ・ケアギバーの話を聞きたかったから
- ・テーマと講師が魅力的だったから
- ・緩和ケアの講演会を聞いてみたかったから
- ・同僚が講師をするから
- ・家族をがんで亡くし、がんを知ることから始めようと思ったから
- ・自分事ととらえるテーマだと思ったから
- ・これからの老後のために

2. 内容はいかがでしたか？また、その理由は何でしょうか？

- | | |
|---------------|-----|
| (1) とても良かった | 43名 |
| (2) 良かった | 7名 |
| (3) 普通 | 1名 |
| (4) あまり良くなかった | 0名 |
| (5) 良くなかった | 0名 |
| (6) 未回答 | 1名 |

- ・それぞれの立場の話が聞いてよかった、有意義だった 11名
- ・患者本人の気持ち、体験談が聞いてよかった、心に響いた 10名
- ・理解を高めることができた 3名
- ・わかりやすかった 2名

- ・最新の情報を得られた 2名
- ・北上市の取り組みの経緯などを知ることができた 2名
- ・関心のある内容だった。
- ・久しぶりに会えた人々がいて、目的が達せられた
- ・「住みよいまちとは？」を改めて考えるきっかけになった。
- ・「同情より理解」、「ともにいる」というグレイズが響いた。
- ・がん患者の家族も第2の患者という言葉にハッとしました。
- ・知らなかった感情がわきでて、無心で聞いていた。
- ・がん対策基金の歴史について、とても想いのこもった基金であることを知る事ができた。
- ・もっと市民に聞くべき話だとおもった

4. ご本人にお尋ねいたします。

- (1) 年齢 30代3名 40代9名 50代15名 60代12名 70代7名 80代4名 未回答2名
- (2) 性別 男性13名 女性37名 未回答2名
- (3) 職業 医師2名 薬剤師1名 看護師4名 作業療法士1名 ケアマネージャー4名
医療ソーシャルワーカー1名 介護福祉士2名 介護支援専門員1名 介護関連1名
社会福祉士1名 福祉職員1名 介護1名 医療職2名 会社員(経営、パート含)7名
行政、公務員4名 牧師1名 農業1名 無職8名 未回答9名
- (5)居住地 北上市40名 花巻市3名 一関市1名 盛岡市2名 紫波郡2名 滝沢市1名
未回答3名

3. 感想、要望

- ・ありがとうございました。5名
- ・もっとたくさんの方に聞いていただきたい話だと思った。4名
- ・講演会に来てよかった。良い機会だった。3名
- ・日々の生活ができることに感謝しながら生活していきたい。
- ・がんに対する考え方の変化も感じられる講演会だった。高額になる治療を負担できる人と、そうでない人の格差が生まれることは、考える必要があると思った。
- ・北上は、本当に素敵な方達がいる街だと思った。「どんな人にとっても住みよい街づくり」を必ず実現できると思う。応援しています。
- ・知らないことがまだまだたくさんあり、何かあった時には相談する事が大切だと思った。今後もいろいろな講演会などに参加してみたい。
- ・YouTubeで配信しても良い内容だと思った。
- ・がんについて、実際の話しや現状の一部を聞いたことで、私個人ができること、地域としてできることを考え行動していきたいと思った。
- ・こうしていれば、こうしたかっと思わないようにしていきたいなと思った。
- ・がん対策基金事業が思いの詰まった事業という事を知り、もっと市民に知ってもらいたいと思った。
- ・体験談だけに終わらず、「住みよい街をめざして」の具体的な方針を話してもらえて良かった。
- ・いつもアンケートを求められますが、どのような意見があったのか知りたいです。
- ・原点に戻れた。

- ・話せる、聞いてくれる、傾聴を大切にしていきたい。
- ・自分のこととして考えていきたい。
- ・いろいろな経験、背景があつての思いが改めて伝わった。
- ・緩和ケアが進み、薬がいろいろあり、患者が選べて、家族と相談しながら生活できるようになれば

良

いと思う。

- ・先月、がんで知人が亡くなり少し落ち込んでいたが、いろいろ考えさせてもらった。
- ・がん治療の考え方が変わった。
- ・寛美さんの話はとても良かった。久々に顔が見ることができたよかったです。
- ・家族が癌でなくなる時（30年前）話を聞いてもらえる人がいなくて辛かった。私は、周囲の人の話をしっかり聞くことを続けたいと思った。
- ・家族も最期は病院でなく自宅に帰りたいと希望した。願いを叶えたのは、ホームケアクリニック えん、えぐなるプラザ、ケアマネ、主治医、看護師、その他多くの皆様の協力があつてこそだった。自分も病気になつても諦めず、前向きにいきたいと思った。
- ・年に1～2度は、このような北上医師会の講演会を希望する。